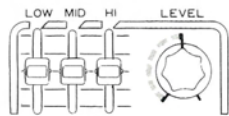


- ④ アンプをフルボリュームにセットして、その独特な持ち味を生かしたい場合が、しばしばありますが、フルボリュームでは音量が大き過ぎて演奏できる場所は限られます。そうかといって、ボリュームをしばるとフルボリュームの独特な持ち味は薄れてしまいます。そんな場合FIG.4のようにLEVELを0から-20までの間で音量を調節し、アンプをフルボリュームにセッティングすることにより、フルボリュームの独特な持ち味を生かすことができます。

通常LOW・MID・HIはフラットにセットしますがLOW・MID・HIのコントロールを付け加えることにより、一層味のあるオリジナルサウンドを創ることができます。



(FIG.4)

■ 電池交換

- ① この製品は電源に、S 006P・9ボルトの電池を2本使用しております。
- ② 効果が浅くなった場合又は音が歪む場合は電池を交換して下さい。尚、交換電池は、楽器専用のマクソン・ビックパワーを、楽器店でお求め下さい。
- ③ 電池交換は底面のビス4個をプラスドライバーで取ることにより底板がはずれます。尚、ドライバーはビスの破損を防ぐため、ビスの頭に合ったものを必ずご使用下さい。
- ④ 電池は必ず所定の位置に入れて下さい。
- ⑤ ACアダプターを使用する場合でも電池は接続しておいて下さい。プラグが抜けても瞬時に電池に切り替ります。



ACアダプター
「AC-118」

■ PE-800の主な規格

| | |
|------------|---|
| イコライザー周波数 | : 100Hz・600Hz・1.5KHz |
| イコライザー可変範囲 | : ±12db (センターストップ・クリック付スライドボリューム) |
| レベル可変範囲 | : ±20db (センターストップ・クリック付ボリューム) |
| 増幅率 | : 0db (フィルター・フラット) 0db (ノーマル) |
| 入力インピーダンス | : 470KΩ |
| 出力インピーダンス | : 10KΩ |
| 入力換算ノイズ | : -100db (IHF・Aカーブ・ショートサーキット) |
| 最大入力レベル | : 5dbm (レベル=0) |
| 最大出力レベル | : 17dbm (レベル=0) 出力 |
| 使用半導体 | : IC 2 トランジスター 1 |
| 電源 | : 9ボルト・バッテリー・S 006P 2 又は外部電源・AC-118(オプション) |
| 消費電力 | : 95mW |
| 外形寸法 | : 60H×120W×150D |
| 重量 | : 530g |

※規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

PE-800

ZEEQ POWER EQUALIZER

取扱説明書



MANUFACTURED BY NISSHIN ONPA CO., LTD.

■はじめに

このたびは、マクソン「ジーク・PE-800」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
マクソンは、常に新しい時代の要求と、皆様のご意見を反映した製品企画にもとづいて、よりすぐれた製品をお届けできるように心がけております。必ずご愛用者皆様のご満足をいただけるものと信じております。
ご使用前に、この説明書をお読み下さい。

■特長

- ① Z E E Q ・ P E - 8 0 0 は、パワーレベルを±20db (約10倍)の広範囲にわたり連続可変することが出来ます。
しかも3バンドイコライザーを有し自由に音創りを楽しんでいただけます。
- ② イコライザー回路には、アクティブ・フィルターを採用していますので、安定した音創りができます。
- ③ 各スライドボリュームは、センターにクリックストップがありますので、フラットにセッティングすることは極めて簡単です。
- ④ ダイナミック・レンジが広く、ローディストーション・ローノイズですので、比較的レベルの大きいE・キーボードをはじめとしE・ギター、E・ベースに使用できます。
- ⑤ エフェクトインジケータが装備され、演奏中などにミスセットがありません。又インジケータはバッテリーチェッカーも兼ねています。電池の交換時が一目でわかり常に安定した動作で使用できます。
- ⑥ ケースは、コンパクトなアルミダイカストで、電源は、9ボルト・バッテリー2本で動作しますので、持ち運びに便利です。

■各部の名称とはたらき

- ① インプット・ジャック
入力ジャックです。E・ギター等楽器の出力を接続します。尚、ジャックにプラグを接続すると回路に電源が入ります。
〔注意〕使用しない時は、プラグを抜いて下さい。
- ② アウトプットジャック
イコライザーの出力ジャックです。ギターアンプの入力と接続します。

- ③ ノーマル/エフェクト切替スイッチ
足で踏み込む動作をくりかえすことにより、ノーマルとエフェクトに切替ります。
- ④ レベル
センターで、0db (1:1)です。右に廻すに従って、ブースト量は増加し+20db (1:10)まで連続可変できます。左に廻すに従ってカット量は増加し-20db (10:1)まで連続可変できます。
- ⑤ ロー
低音域 (100Hz) をブースト/カットします。センターで0db (1:1)で上にスライドするに従ってブースト量は増加し+12db (1:4)まで連続可変できます。下にスライドするに従ってカット量は増加し-12db (4:1)まで連続可変できます。

⑥ ミドル

中音域 (600Hz) をブースト/カットします。ローと同様に、±12dbの可変ができます。

⑦ ハイ

高音域 (1.5KHz) をブースト/カットします。ローと同様に±12dbの可変ができます。

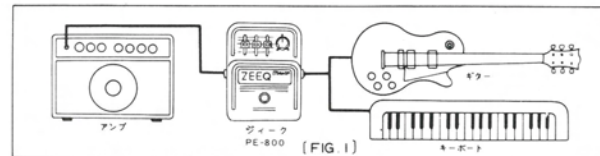
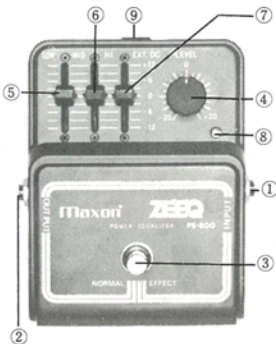
⑧ インジケータは③のフートスイッチがエフェクトにセットされたとき点灯します。

※インジケータはバッテリーチェッカーも兼ねています。点灯しなかったり、非常に暗いときは電池を交換して下さい。

- ⑨ 外部電源端子は別売の専用ACアダプター「AC-118」(DC-18V)を使用して下さい。

■操作方法と簡単なセッティング例

- ① 各コード類をFIG.1のように接続します。LEVEL・LOW・MID・HIは任意にセッティングして下さい。



- ② LOW・MID・HI をブースト・カットをして音創りをしますと、ノーマル音に比較して出力レベルが上下します。そんな場合は、FIG.2のようにパワーレベルで全体をコントロールします。

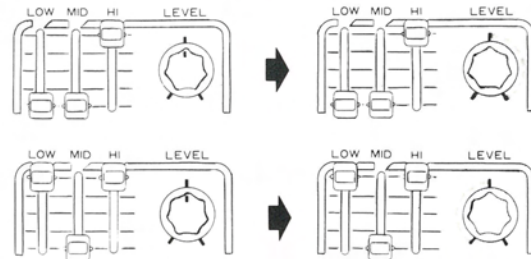


FIG.2

- ③ アンプのオーバードライブを利用し、ナチュラルなディストーションサウンドを創る場合FIG.3のようにセッティングします。
LEVEL は0から+20までの間で調節しオーバードライブさせます。通常HI・MID.をだけをブーストしLOWはフラット又はカットにします。
アンプにプリアンプ・ボリュームとマスターボリュームが付いている場合はプリアンプ・ボリュームをフルにし、マスターボリュームで音量を調節して下さい。

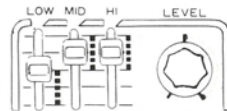


FIG.3